

私たちが作りました!

市民みんなが観光大使

「ぐるたび」では、2014年に高崎市が認定した
観光大使が、高崎の魅力を日々発信しています。

高崎の旬の話題やグルメ情報、おすすめスポット、イチオシのお土産などを地元目線で紹介。
高崎在住の方だけでなく、市外の方にも楽しんでいただける情報が満載です。
高崎にお越しの際は、ぜひ参考にしてください。

ぐるたび 高崎

検索



詳しくは「ぐるたび 高崎」で検索
またはQRコードをスキャン！

お問い合わせ

● 高崎市役所 観光課 TEL 027-321-1257 高崎市高松町 35-1

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/>

●(一社)高崎観光協会 TEL 027-330-5333 高崎市八島町 32-2 岩崎ビル 2F

<http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp/>

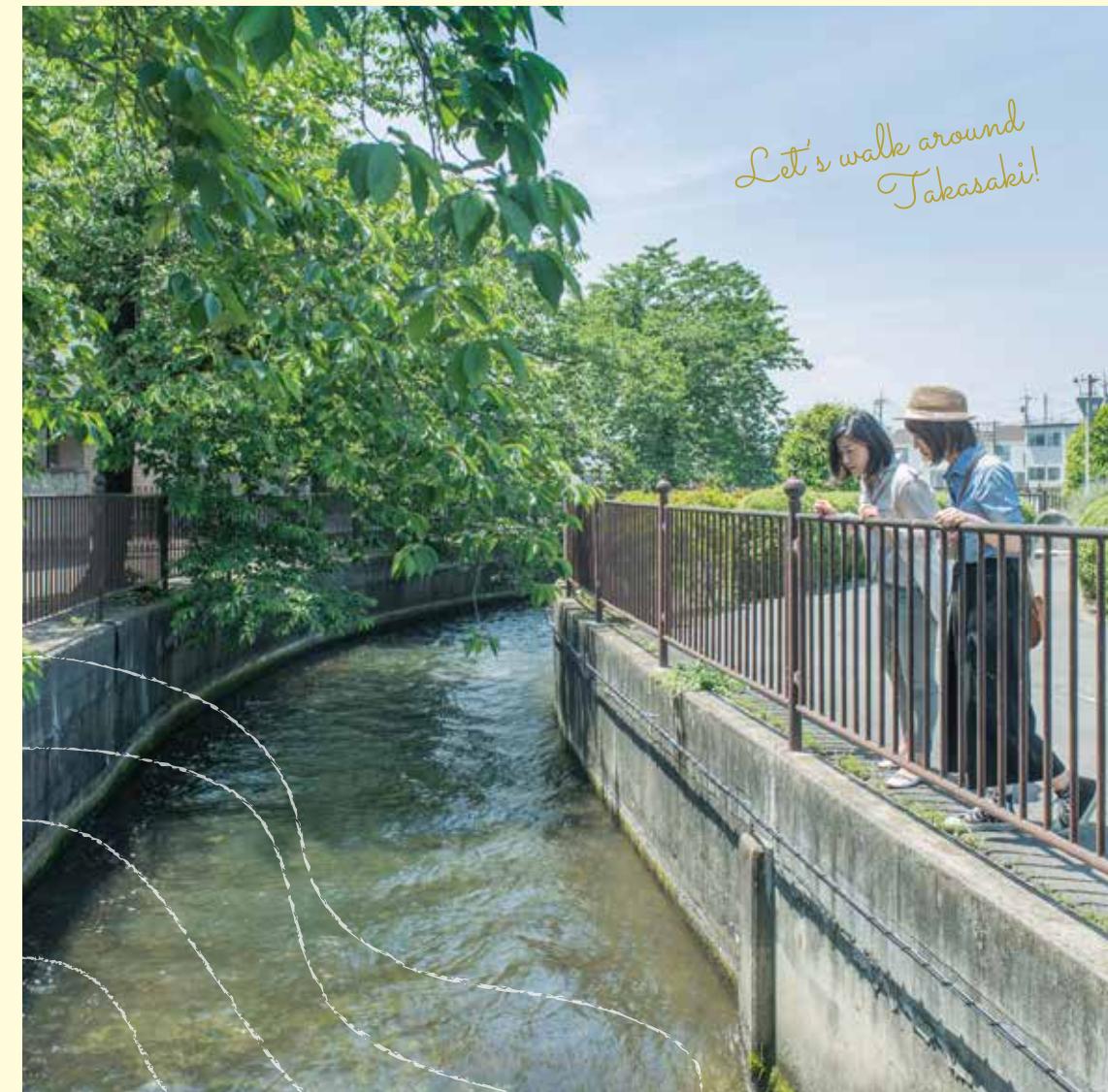
高崎を歩こう！vol.2 特集：高崎を支える水路 長野堰用水

● 高崎市公認 観光大使がオススメする

高崎を歩こう！

vol.
02
2017 春

特集 | 高崎を支える水路 長野堰用水



特集

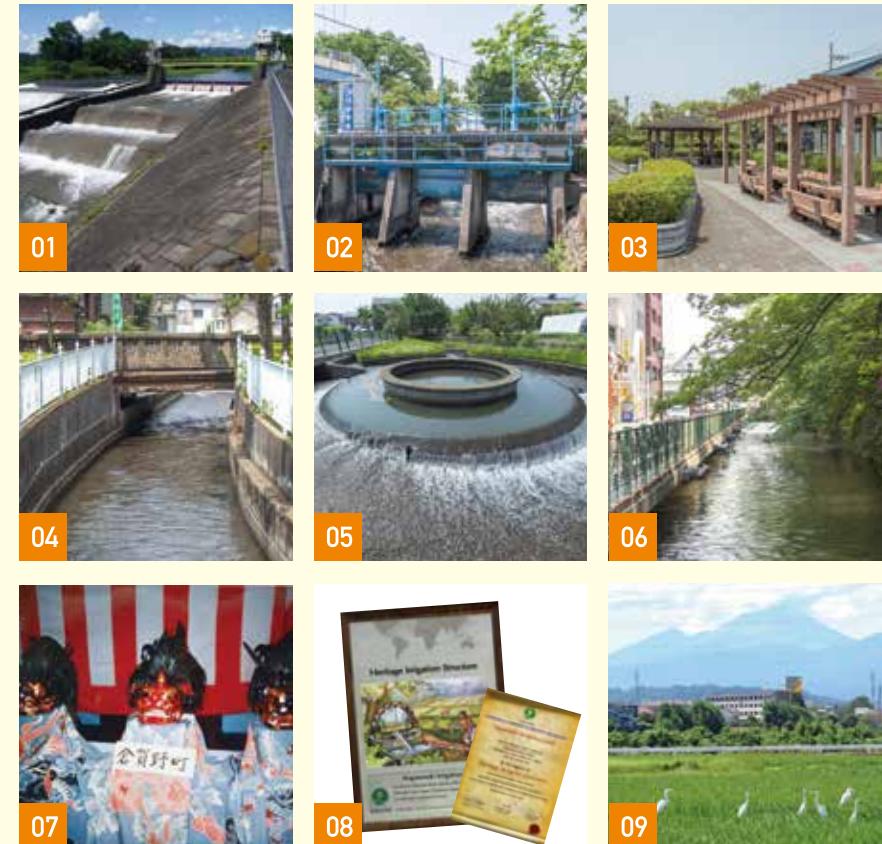
高崎を支える水路 なが の ゼキ 長野堰用水

高崎市の西から東へと流れる長野堰用水。

平安時代に開削され、その後、戦国時代に箕輪城主・長野業正が整備したと言われています。そのことから“長野堰”と呼ばれるようになったようです。

農業用水として誕生し、生活用水として、また染色・製紙業のほか、醤油作りや銭湯などにも利用されてきました。

改修をかねた現在も、烏川から最大6.8t/秒の水を取り入れ、高崎の台地を潤しています。



01 長野堰のスタート地点。烏川の水を取り入れる第一頭首工 02 上並榎町の水門 03 大橋町のボケットパーク。水路沿いに全11か所ある 04 住宅地を通る高砂町の水路 05 江木町の円筒分水。ここから4つの水路に分かれる 06 今も昔も長野堰からの水をたたえている高崎城址のお堀 07 長野堰沿いには農業の発展に伴い、伝統芸能も生まれた。獅子舞もその一つ 08 2016年世界灌漑施設遺産に登録された 09 現在も農業用水としてなくてはならない存在



歴史研究家
綿貫 鋭次郎さん

これまで高崎市や群馬県の埋蔵文化財調査、教職に従事。
高崎市在住。

世界灌漑遺産長野堰用水

私たちの祖先は、火山灰の厚く積もったこの台地に烏川の水を引くことで、米作りの沃野に変えてきました。この地に暮らす農民は『土づくり』『肥づくり』そして『種づくり』に励み、春には麦秋、秋には豊かに頭を垂れた稻穂が黄金色に輝き、その稔りをもたらす見事な二毛作の田園を切り開いてきました。台地に引かれた豊かな水は、田を潤し、お城の濠を満たし、各所に水車が回り、生活用水としても産業用水としても、この地に暮らす人々にはなくてはならないものになりました。その水面には、水とともに生きた人々の生活が映し出されています。

のんびりめぐる長野堰

大橋町、請地町付近の長野堰沿いは、遊歩道が整備されお散歩にぴったり。地元に長く愛されるお店では、味わい深いグルメにも出会えます。



01 長野堰改修紀功碑

1932年に始まった長野堰の改修を記念し1934年に建てられた。それまでの改修の歴史を振り返りながら、大変だった工事の様子を長く後の世に伝えたいとの想いが刻まれている。



02 ポケットパーク

季節の花を楽しめる並木町のポケットパーク。長野堰のせせらぎを聞きながら、ひと休み。

03 平井精肉店

看板メニューはオランダコロッケ(120円)。じゃがいもの甘みとコクのあるチーズ、パセリのバランスにこだわった一品。揚げたてはとろりと溶け出すチーズが絶妙で、世代を問わず愛されている。オランダメンチカツや、週末限定のチキンスペアリブなどのメニューもオススメ。

高崎市大橋町7-18
☎027-322-3625
①10:00~19:00 休日曜・祝日
<http://www.hiraiseinikuten.com>



04 御茶菓子処 頑固堂

看板商品の手造りかりんとう「ちっかっぽい」(281円～)は、しっかりとした硬さとその大きさが特徴。頬張れば香ばしい香りと共に懐かしさもひろがる。コクのある甘さの黒、キビ砂糖たっぷりの白の2種類。

高崎市住吉町15-2 ☎027-325-4725 ①10:00~17:30 休日曜・祝日
<http://gankodou.jp>



05 きゃらばん

世界各国から一級品の珈琲豆を仕入れ、焙煎、密封保存、熟成などすべての工程にこだわった豆を使用。自家製のネルドリップでおとすことで、雑味がなくまろやかな味わいに。銘柄に合わせたカップを選んでくれるのがうれしい。オムライスなどの軽食も豊富。

高崎市昭和町209 ☎027-323-4670 ①10:00~20:00
休第1・3・5月曜 <http://caravan1976.com>



【アクセス】

- ①へは高崎駅西口より市内循環バスぐるりん高経大線③で「上並木」下車
- ③へは北高崎駅より徒歩約3分





長野堰のクライマックスとも言えるのが
江木町にある円筒分水。
円の中心から勢いよく水が流れる様子と
その不思議な形に目を奪われます。
はたして円筒分水とは?

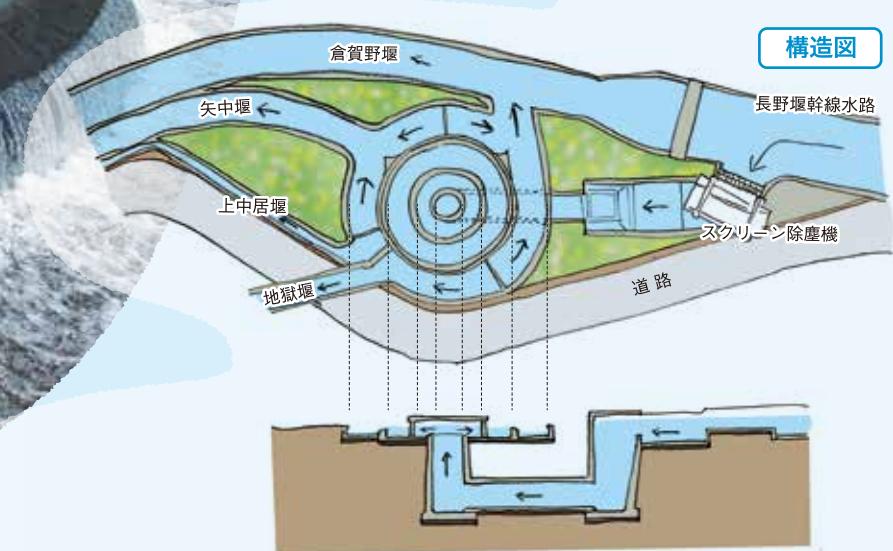
[アクセス]
高崎駅東口より徒歩約15分
東口より京ヶ島線⑧で「城東小学校前」下車



歴史

田植えの時期になると、農家は先を争って堰からの水を水田に引き入れようとし、水争いが絶えませんでした。そのため各村々では交代で夜通しの番を立て、堰を守りました。

問題解消のため昭和37年、一目で均等に水が配られていることが分かる円筒分水がこの場所に建設されました。



解説

円筒分水とは、サイフォンの原理^{*}を利用して、吹き上げられた水が同心円状に流れることにより、水を公平に分けることができる灌漑施設。長野堰円筒分水からは、4つの水路に水を分けています。水争いを解決した人々の知恵と工夫の結晶といえます。



*隙間のない管を利用して、液体のある地点から目的地まで、途中経過より高い地点を通って導く原理。



高崎城の姿を今に残す

お堀歴史散策

徳川家康が江戸防備の要として築城を命じた高崎城。

烏川を背にした城の守りは、城下町と三重のお堀でした。

長野堰用水から新井堰で分流した水が、

400年の時を超えて今もお堀を満たしています。

水面を見ながらぐるっと一周。

高崎の歴史を刻んだお堀の散策にでかけましょう。

【アクセス】

高崎駅西口より徒歩約7分

高崎駅西口より市内循環バスぐるりん都心環状線で

「音楽センター前」下車



01

02

03



01.乾櫓。高崎城唯一の遺構 02.復元された東門 03.付近には公園もあり、のどかな雰囲気 04.春には約300本の桜が咲き誇る 05.柳橋 06.高崎で活躍した俳人村上鬼城の歌碑 07.飛龍の松前広場 08.冬には高崎光のページェントが行われる。水面にゆれる光が幻想的 09.四季折々の花が目を楽しませてくれる 10.北村西望の作品「將軍の孫」 11.建築ファンが訪れる群馬音楽センター。アントニン・レーモンドの設計により建設された 12.音楽シーンが描かれたベンチ

長野堰用水と高崎城

慶長3年、井伊直政が築いた高崎城。大阪城・江戸城と同じく平野の中心部にお堀で囲って防御線とする平城でした。現在残っているのは、三重のお堀のうち一番外側にあたる三の丸外堀です。

高崎城絵図には、お堀の他に長野堰用水から引いた水路が城下町にも整備され、生活用水・防火用水として利用されていたことがわかります。染め物などの産業にも使われていました。長野堰は田畠を潤すだけでなく、城下町の生活をも支えていました。そんな歴史をお堀の水が静かに物語っています。





岡醤油醸造

高いレンガ作りの煙突が目印。明治30年に建てられ、かつては醤油製造所の一部だった家屋を店舗としている。店内には、看板商品ヒキソーイチ醤油をはじめ、ニンニク醤油、醤油アイスなどがそろう。看板や引き札などの展示もあり、当時の息遣いが感じられる。

高崎市常盤町5 ☎027-322-2306
①8:00～17:00 休第2・3土曜、日曜、祝日



1.建物が気になり足を運ぶ人も多いそう。2.一升瓶の入れ物をミニサイズした小袋(410円・6色)。小物入れや和装にぴったり。3.ヒキソーイチ醤油。甘みのある濃口醤油で現在も地元で愛されている。

中村染工場

明治30年創業。県内唯一の注染工場。伝統技術で染め上げる手ぬぐいを中心とした商品が並ぶ。その高い技術により、細かな色分けや色使いが可能で、季節柄や動物、ご当地キャラクターものなどデザインが充実している。にじみやぼかしの色合いには、手仕事のあたたかみを感じる。手ぬぐいとして普段使いはもちろん、インテリアにもオススメ。

高崎市常盤町40 ☎027-322-5202
①10:00～17:00 休土曜、日曜、祝日



1～3.糊置き、注染、水洗いなどの工程を経て完成する。

(公財) 山田文庫

経済学者として活躍した山田勝次郎・とく夫妻が設立した私設図書館。昭和49年に山田文庫を設立し、県内の学校に図書を寄贈する活動を開始。夫妻亡き後、自宅だった場所を市民誰もが本に親しめる和風図書館とした。児童書、小説、詩集、美術本など約3万冊以上の本を蔵書している。書体、挿絵、装丁と本が一つの作品だった時代の一冊に巡り合うことができる。

高崎市常磐町25
☎027-322-2531
⌚10:00~16:00
休月曜、火曜



1.昭和初期から現在までの作品が並ぶ 2.茶室。ここで子ども向けの読み聞かせなどが行われている 3.赤坂町を象徴するレンガ壁



高崎神社

いざなみのみこと
高崎神社は女神・伊邪那美命を主祭神とし、高崎の総鎮守とも「結びの神」とも親しまれている。その縁起は鎌倉時代中期に相模国三浦より勧請されたとされ、後に今の地に奉遷された。

高崎市赤坂町94 ☎027-326-9482

長松寺

虎谷春喜師が、寛永元年に現在の場所を開山した。本堂には、狩野探雲の作品「龍」と「天女」の天井画がある。そのほか、高崎城より移築した「駿河大納言徳川忠長自刃の間」もあり、みどころが多い。

高崎市赤坂町30
☎027-326-4550



1・2.どちらも探雲の円熟期の作品。
3.喧騒を離れ、静かな空気が流れる本堂。

大正6年創業の老舗和菓子店 鉢の木 七富久

【鉢の木】創業時に誕生した銘菓。求肥と卵が入ったもちっとしたマシュマロのような食感。高崎に伝わる謡曲「鉢の木」にちなみ、梅・桜・松の印が押されている。味はそれぞれ紫蘇、ゆず、黒糖。(3個入り346円~)

【有平細工】歴史ある京菓子の技術でつくる飴細工。食べる宝石とも呼ばれ、ガラスのような透明感と絹のような光沢を長く保つことが特徴。各地からその職人技を買い求めにくるまさに食べる芸術品。(1つ76円~)



高崎市赤坂町73 ☎027-322-6001 ⌚9:00~18:30 休水曜

昭和16年創業の酒造工場 美峰酒類株式会社

【ZUTTO】ずっと愛してもらいたいとネーミングされた梅酒。ブランドベースで、その香りと味の豊かさが特徴。女性に人気の商品。

【司】メインブランド「司」。麦焼酎で、3年以上かめで貯蔵・熟成している。マイルドで飲みやすい口あたりなので、ロックがオススメ。ロックセラー商品。

【TUKASA TROPINE】若手社員が商品開発にあたったというリキュール。ほのかな甘みとパイナップルの果汁感を楽しめる。しづく型のフォルムもかわいい。

高崎市歌川町1 [HP] <http://www.mihoshurui.co.jp/>

工場での直接販売は行っていません。お買い求めは、市内スーパー等へ。



TUKASA TROPINE ▶

高崎

TAKASAKI

「関東と信越つなぐ高崎市」

高崎は、群馬県の玄関口。人口 37 万人の街です。

高崎といえば…みなさん何を想像されますか？

駅や IC の名前として知っている方が多いかもしれません。

必勝祈願をするあの赤いだるま。高崎が日本一の生産量を誇っています。

日本人のソウルフード梅。高崎は日本で有数の生産地なのです。

最近見た日本映画、それは高崎がロケ地だったかもしれません。

世界的に活躍するあの女子ソフトボール選手は

高崎を本拠地とするチームに所属しています。

高崎にはほかにも知られざる観光名所や名産がたくさんあります。

高崎の長い歴史から生まれた文化に会いに。

ぜひ一度訪れてみてください。



高崎チェックリスト

Check List
入門編

まずは“知って”“訪れて”もらいたい高崎をチェックリストにしました。

だるま



日本一の生産量。眉毛は鶴、ひげは亀を表現している縁起物。

白衣大観音



高崎を見守りつづける優しいまなざし。高さ 41.8m、重さ 5,985t!!

榛名神社



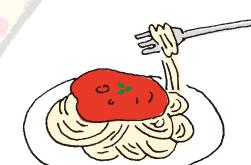
高崎イチのパワースポット。奇岩群や文化財の並ぶ参道も見もの。

焼きまんじゅう



甘じょっぱい味噌ダレが特徴。子どもの頃から親しむ高崎のソウルフード。

パスタ



とにかくパスタ店が多い高崎。No.1パスタ店を決めるイベント「キング・オブ・パスタ」は大人気。

フレーツ



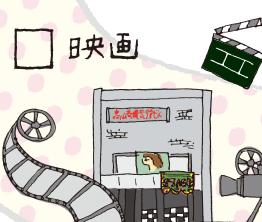
榛名フルーツ街道沿いは桃や梨などのフルーツの一大生産地。ジャムやジュースもオススメ。

音楽



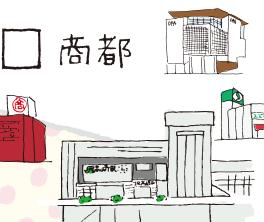
“音楽のある街 高崎”群馬交響楽団の本拠地。群馬音楽センターや TAGO STUDIO TAKASAKI などの音楽発信スポットが充実。

映画



毎年春に行われる高崎映画祭をはじめ映画文化が活発。映画やドラマのロケ地としても有名。

商都



江戸時代より商業の街として発展してきた高崎。高崎駅周辺には、大型商業施設が 5 店舗も！